SUSTAINABLE
AGRICULTURE
FOR
THE NEXT GENERATION



転換作物による
所得向上マニュアル
（概要版）

※所得向上編は、国の交付単価が公表され次第の発行となります。

青森県農林水産部

第１版（令和８年１１月発行）





目次

第Ⅰ章　栽培技術編

１　排水対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ 1

２　復田技術・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ 1



３　作物別技術対策

（１）大豆・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ 2

（２）小麦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ 2

（３）そば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ 2



（４）高収益作物

①トマト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ 3

②ミニトマト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ 3

③かぼちゃ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ 4



④ピーマン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ 4

⑤ブロッコリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ 5

（５）飼料作物

①ＷＣＳ用稲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ 6



②牧草・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ 6

③青刈とうもろこし・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ 6

④子実用とうもろこし・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ 6

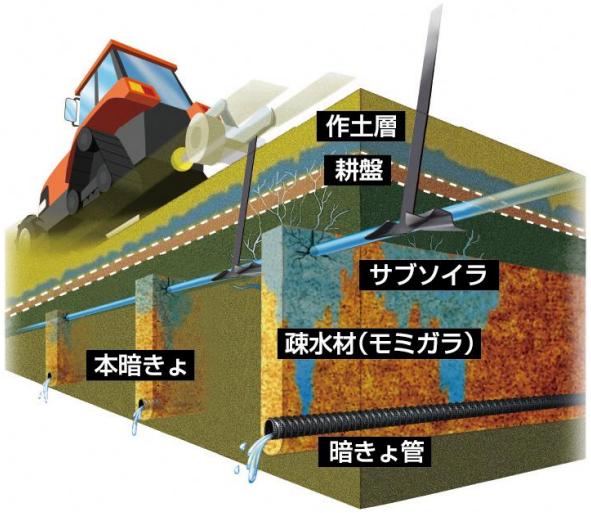
1　排水対策　ポイント

（1）ブロックローテーションにより、ほ場への水の浸入を抑えましょう
（2）明きょにより、地表の水を排出しましょう
（3）暗きょにより、地下の余分な水を排出しましょう

水を貯めるようにできている水田でスムーズに排水するためには、ほ場の立地条件、土壌の種類、下層の状態に応じた排水技術を施工する必要があります。



▲溝掘機による明きょの施工



出典:水田高度利用技術ガイド クボタ大豆300A ver.4（㈱クボタ）

2　復田技術　ポイント

（1）効率的な水管理と雑草防除のため、漏水を防ぎ、田面を均平にしましょう
（2）前作物の種類に応じて、肥料を減らしましょう
（3）田植前の落水時期に注意しましょう
（4）異常還元や生育過剰に注意しましょう

復元田は、畦畔の崩れや心土破砕により、漏水や地下浸透が多くなるため、あぜ塗りと代かきを丁寧に行い、田面を均平化します。



あぜ塗り（出典：青森産技）



代かき作業（出典：青森産技）

大　豆　栽培のポイント

【生産目標】１０ａ当たり　　津軽３００ｋｇ　県南２５０ｋｇ

・３年以内で輪作をしましょう
・適正な砕土率で、出芽を良くし、
　土壌処理剤の効果を高めましょう


▲砕土率　約90%


▲砕土率　約70%


▲砕土率　約40%

・排水不良のほ場では、畝立て栽培を導入しましょう
・は種が遅くなる場合は、晩播狭畦栽培を検討しましょう
・雑草の種類に応じた除草剤を選択し、適期に散布しましょう

出典：水田高度利用技術ガイド クボタ大豆300A ver.4（㈱クボタ）

小　麦　栽培のポイント

【生産目標】１０a当たり　３６０kg

＜越冬前＞
・明きょや簡易暗きょを設置し、排水対策を徹底しましょう
・土壌ｐＨの矯正や、有機物の施用により土づくりを行いましょう
・適正な砕土率により、生育の促進や除草効果の向上を図りましょう
・適期は種により出芽を安定させ、越冬前の生育量を確保しましょう
・雪腐病を防除し、生育量を確保しましょう

＜越冬後＞
・追肥は２回実施し、収量・品質を確保しましょう
・雑草の種類に応じて、除草剤を適期に散布しましょう
・赤かび病の防除を徹底しましょう
・収穫時期を見極め、適期収穫しましょう


赤かび病に罹病した小麦

そ　ば　栽培のポイント

【生産目標】１０a当たり　１３５kg

・明きょや簡易暗きょを設置し、排水対策を徹底しましょう
・湿害を回避し、作業の効率化を図るため、団地化を図りましょう
・土壌ｐＨを矯正し、適正な砕土率により生育を促進させましょう
・品質向上のため、種子更新を行いましょう
・地力に応じた施肥を行いましょう
・生育量確保と倒伏防止のため、適期は種を実施しましょう
・生育量確保と倒伏防止のため、適期は種を実施しましょう
・収穫時期を見極め、適期に収穫しましょう

大玉トマト　栽培のポイント

【生産目標】１０a当たり ８，０００kg
＜排水対策等＞
・保水性・排水性、日当たりのよい場所にハウスを設置しましょう
・ハウス周辺に明きょを施工するとともに、ハウスへの浸水防止のため、土のうを設置しましょう
・土壌診断に基づき、土壌ｐＨ、りん酸を矯正し、完熟堆肥を投入しましょう
＜定植＞
・活着を促すため、深さ１０cmの地温が１５℃以上を目安に行いましょう
＜温度管理＞
・室温は最低１４℃、日中は１８～２５℃を目安に管理しましょう
＜ホルモン処理＞
・朝の涼しいうちに行い、同じ花房に２度処理しないようにしましょう
＜かん水＞
・１株当たり１．５㍑を基準に、天候やほ場の水分の状況に合わせ、１～３日おきに行いましょう

ミニトマト　栽培のポイント

【生産目標】１０a当たり ６，５００kg
＜排水対策等＞
・保水性・排水性、日当たりのよい場所にハウスを設置しましょう
・ハウス周辺に明きょを施工するとともに、ハウスへの浸水防止のため、土のうを設置しましょう
・土壌診断に基づき、土壌ｐＨ、りん酸を矯正し、完熟堆肥を投入しましょう
＜定植＞
・活着を促すため、深さ１０cmの地温１５℃以上を目安に行いましょう
＜温度管理＞
・室温は最低１４℃、日中は１８～２５℃を目安に管理しましょう
＜ホルモン処理＞
・朝の涼しいうちに行い、着果量を確保しましょう
・開花時期に合わせ１花房当たり２～３回に分けて処理しましょう
＜かん水＞
・１株当たり１．５㍑を基準に、天候やほ場の水分の状況に合わせ１～３日おきに行いましょう

かぼちゃ　栽培のポイント

【生産目標】１０a当たり １，８００kg
＜排水対策等＞
・明きょや簡易暗きょを設置し、排水対策を徹底しましょう
・土壌診断に基づき、土壌ｐＨ、りん酸を矯正し、完熟堆肥を投入しましょう
＜定植＞
・５月下旬～６月上旬頃に、本葉3.5～４枚を目安に定植しましょう
・植穴に粒剤の殺虫剤を施用し、ポット面が畦面より
　０．５～１cm高くなるように植えましょう



＜整枝（１株３本仕立て）＞
・親づるを４節で摘芯し、子づるを３本伸ばします
・１番果着果節位（１２節）までの雌花とわき芽は、全て取り除きましょう
＜収穫＞
・交配４０～５０日後、果梗部がコルク化し亀裂が十分入ってから収穫しましょう

ピーマン　栽培のポイント

【生産目標】１０a当たり ６，０００kg
＜排水対策等＞
・明きょや簡易暗きょを設置し、排水対策を徹底しましょう
・土壌診断に基づき、土壌ｐＨ、りん酸を矯正し、完熟堆肥を投入しましょう
＜定植＞
・定植は晩霜おそれがない５月下旬～６月上旬とし、苗は１番花が開花した時期を目安に、晴天の日を選んで行いましょう
・定植１週間前にマルチを張り、地温を高めましょう
＜整枝・誘引＞
・第１分枝以下のわき芽は取り除き、第２分枝の４本を主枝にしましょう
・主枝が伸びてきたら、フラワーネットに誘引し、
　フラワーネットは生育に応じて２～３段設置しましょう



＜追肥＞
・窒素と加里を成分で各２kg／１０ａずつ、
　５回に分けて追肥しましょう

第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目
6／下	7／下	8／上	8／下	9／中

ブロッコリー　栽培のポイント

【生産目標】１０a当たり １，０００kg

＜排水対策等＞

・明きょや簡易暗きょを設置し、排水対策を徹底しましょう

・根こぶ病等の予防のため、連作を避け、２～３年の輪作を行いましょう

・土壌診断に基づき、土壌ｐＨ、りん酸を矯正し、完熟堆肥を投入しましょう

・ホウ素を含む土壌改良資材やホウ素入り肥料を使用しましょう

＜作型＞

	は種期	定植期	収穫期
春まき栽培	２／下～３／下	４／上～５／上	６／上～７／上
秋まき栽培	６／下～７／下	７／下～８／上	９／上～10／下

＜定植＞

・本葉３～４枚（は種後２０～３０日頃）を目安に定植しましょう

＜追肥・中耕＞

・追肥をする場合は、定植後１５日、３０日（土寄せ時）に、中耕を兼ねて行いましょう



＜収穫＞

・朝の涼しい時間帯に、開花直前のものを収穫しましょう

飼料作物　栽培のポイント

ＷＣＳ用稲

【生産目標】
牧草機械体系　　１０ａ当たり　　９３２ｋｇ
その他機械体系　１０ａ当たり　１，１９７ｋｇ
・県奨励品種「あおばまる」を作付けしましょう
・収量向上のため、肥料を増やして栽培しましょう
・収穫適期は黄熟期（出穂後３０日頃）なので、
主食用米より早めに収穫の準備をしましょう
・省力・低コスト化のため、直は栽培を検討しましょう


湛水直播機（出典：青森産技）

牧草

【生産目標】
牧草（は種後１年以上）　　１０ａ当たり　５４９ｋｇ
牧草（は種後１年未満）春まき　１０ａ当たり　２７４ｋｇ
春まき以外　１０ａ当たり　３３３ｋｇ

・明きょや簡易暗きょを設置し、排水対策を徹底しましょう
・耐湿性が優れる県奨励品種を選びましょう
・出穂期に刈り取りましょう

青刈りとうもろこし

【生産目標】　１０ａ当たり　３，９５３ｋｇ
・明きょや簡易暗きょを設置し、排水対策を徹底しましょう
・収量性や耐倒伏性などが優れている県奨励品種から選びましょう
・雑草対策として、土壌処理剤を散布しましょう
・虫害対策を徹底しましょう
・黄熟期に刈り取りましょう


黄熟期
（出典：農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/l_siryo/aogari_corn.html?utm_source=chatgpt.com

子実用とうもろこし

【生産目標】　１０ａ当たり　５９０ｋｇ
・明きょや簡易暗きょを設置し、排水対策を徹底しましょう
・収穫時期までに子実水分が３０％以下になる品種を選びましょう
・雑草対策として、土壌処理剤を散布しましょう
・虫害対策を徹底しましょう
・適期に刈り取りましょう